

建築家 隈 研吾氏等が挑む URルネッサンス in 洋光台
＜第 2 回アドバイザー会議の開催＞

UR都市機構では、高齢化が進む洋光台地区の再生を図るため、日本を代表する建築家 隈 研吾氏と各分野のスペシャリストの方々をアドバイザーに迎え、昨年 12 月 6 日に第 1 回アドバイザー会議を開催し、まち全体の活性化について検討してまいりました。

今回、平成 24 年 12 月 3 日（月）に第 2 回アドバイザー会議を開催し、同会議としての提言をまとめます。

1 URルネッサンス in 洋光台の概要

全国にある約 1,740 の UR 都市機構の賃貸住宅団地の過半は昭和 40 年代、50 年代前半に建設されたものであり、その多くで入居者の高齢化や建物の老朽化が進み、まちの活性化が重要な課題となっています。

UR 都市機構では、これまで、

- ・ 老朽化した住棟を新たなライフスタイルに対応した住棟へと再生させるプロジェクト（ルネッサンス計画 1^{※1}）
- ・ 民間の知恵やノウハウを導入してサービス付高齢者住宅等新たな住まい方を実現するプロジェクト（ルネッサンス計画 2^{※2}）

等を通じて、団地再生のノウハウを蓄積してきました。

「URルネッサンス in 洋光台」では、これらの UR が培ってきたノウハウを総動員し、洋光台地区内の 3 団地^{※3}の再生を核として、洋光台地区全体の活性化を検討しています。

プロジェクトの実施に当たっては、各界の著名なスペシャリストをアドバイザーに招き、様々なアドバイスをいただいています。

UR 都市機構では、引き続きアドバイザーの方々からご意見をいただくとともに、洋光台エリア会議^{※4}にて、具体的にまち全体の活性化に取り組んでまいります。

そして、このプロジェクトで得られた知見やノウハウを積極的に活用し、立地や特性に応じた団地再生の取組みを全国的に展開していきます。

※1 ルネッサンス計画 1：URL：<http://www.ur-net.go.jp/rd/rn1/>参照。

※2 ルネッサンス計画 2：URL：<http://www.ur-net.go.jp/rebuild/rn2/>参照。

※3 洋光台地区内の 3 団地とは、洋光台北団地、洋光台中央団地及び洋光台西団地の 3 つの UR 賃貸住宅団地です。

※4 洋光台エリア会議とは、洋光台地区の良好な社会資本を有効活用し、価値を維持・向上させる事を目的に、洋光台のまちづくりに関わる関係者（学識経験者、洋光台まちづくり協議会、神奈川県、横浜市・磯子区、UR 都市機構）により構成された会議です。

2 アドバイザー会議概要

(1) アドバイザー

- ・ 隈 研吾氏（建築家・東京大学大学院教授）
(URL : <http://kkaa.co.jp/about/kengokuma/>)
- ・ 上野千鶴子氏（社会学者、立命館大学特別招聘教授、東京大学名誉教授、NP0 法人ウィメンズアクションネットワーク（WAN）理事長、日本学術会議会員）
- ・ 大月敏雄氏（東京大学大学院建築学専攻准教授）
- ・ 佐藤可士和氏（クリエイティブディレクター）
(URL : <http://kashiwasato.com/#profile>)
- ・ 信時正人氏（横浜市温暖化対策統括本部 環境未来都市推進担当理事）
- ・ 広井良典氏（千葉大学法経学部総合政策学科教授）

(2) 第2回アドバイザー会議

開催日時	平成24年12月3日（月）午後2時～午後4時
会議次第等	別添1のとおり。
会場	別添2のとおり。

○取材に係るお申込みについて

マスコミの方で、取材をご希望の方は、11月28日（水）午後5時までに、別添2下部の申込み用紙に必要事項をご記入のうえ、下記申込先まで、FAXにてお申込みください（お手数ですが、FAX送付後、電話にて着信をご確認ください。）。

申込先

神奈川地域支社 総務部 総務チーム

電 話：045（682）1511

FAX：045（682）1519

3 洋光台地区の概要

別添3のとおり。

お問い合わせは下記へお願いします。

神奈川地域支社 団地活性化推進本部

（電話）045－682－1563

神奈川地域支社 総務部総務チーム

（電話）045－682－1511

別添 1

URルネッサンス i n 洋光台 ～第2回アドバイザー会議～

1 日 時：平成24年12月3日（月）午後2時～午後4時（開場午後1時30分）

2 場 所：ハンマーヘッドスタジオ「新・港区」（横浜市中区新港2-5）

3 次 第：

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1) 開会挨拶 | ・・・ 理事長 上西郁夫 |
| 2) 洋光台プロジェクト概要 | ・・・ UR事務局 |
| 3) アドバイザーの視点 | ・・・ 各アドバイザー |
| 4) URのこれからの取り組み | ・・・ 地域支社長 田平茂之 |
| 5) 隈研吾氏からの提言 | |
| 6) 意見交換 | |
| 7) まとめ | ・・・ 隈研吾氏 |

4 アドバイザー※：

隈 研吾氏（建築家・東京大学大学院教授）

上野千鶴子氏（社会学者・立命館大学特別招聘教授・東京大学名誉教授・NPO 法人ウィメンズアクションネットワーク（WAN）理事長・日本学術会議会員）

大月 敏雄氏（東京大学大学院建築学専攻准教授）

佐藤可士和氏（クリエイティブディレクター）

信時 正人氏（横浜市温暖化対策統括本部 環境未来都市推進担当理事）

※広井 良典氏（千葉大学法経学部総合政策学科教授）は欠席の予定です。

5 参 加 者：

洋光台関係者（神奈川県、横浜市、洋光台まちづくり協議会等）

UR職員（URルネッサンス i n 洋光台検討メンバー）

当会議は関係者向けのものであるため、マスコミの方以外への一般公開はして
おりません。

別添 2

第2回アドバイザー会議 会場のご案内及び取材申込み

1 第2回アドバイザー会議 会場のご案内

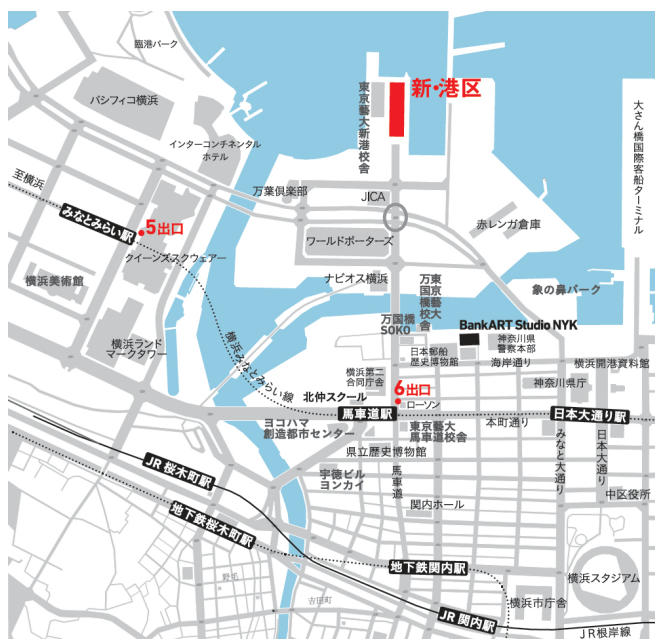
会 場：ハンマーヘッドスタジオ「新・港区」

(電話) 080-1398-3797 ※会議当日(12/3)限り

住 所：〒231-0001 神奈川県横浜市中区新港2-5

最寄り駅：みなとみらい線「馬車道駅」6番出口徒歩約10分

みなとみらい線「みなとみらい駅」5番出口徒歩約10分



「ハンマーヘッドスタジオ新・港区」は、横浜市文化観光局の委託を受けて NPO 法人 BankART1929・新港ピア活用協議会の共同事業体が運営しています。

【ご来場の際の注意事項】

※新港ふ頭内は、原則、関係者以外の立ち入りは禁止です。安全管理上、決められたルート以外に建物の外には出ないようお願いします。

※来場者用の駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

2 取材に係るお申込みについて

マスコミの方で、取材をご希望の方は、11月28日(水)午後5時までに、以下に記載の上、2ページ記載の申込先に、FAXにてお申込みください。

取材申込み

貴社名：〔 _____ 〕

代表者名：〔 _____ 〕

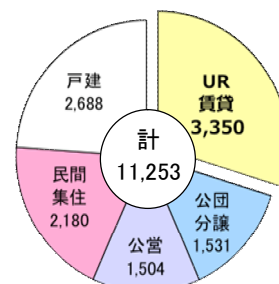
人数：〔 _____ 名〕

連絡先：〔TEL _____ 〕 〔FAX _____ 〕

※会場の都合により、1社2名まででお願いいたします。

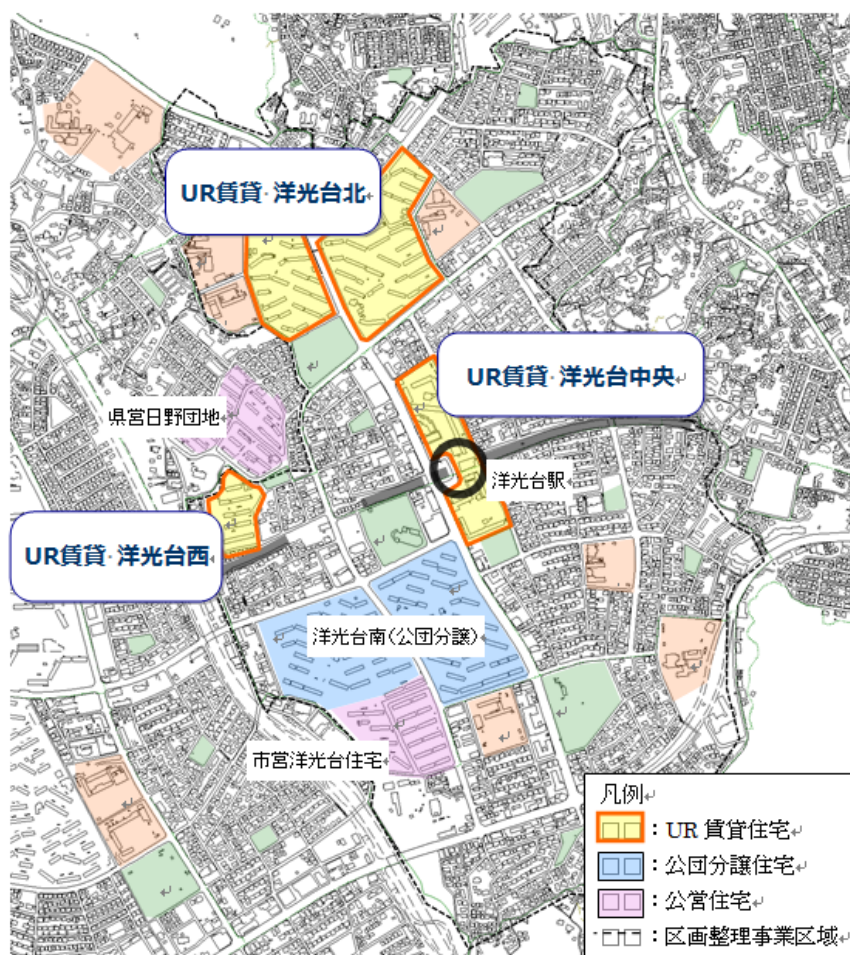
洋光台地区の概要

横浜市磯子区。ＪＲ根岸線洋光台駅前。横浜駅から約２０分。
昭和４０年代に根岸線の延伸と併せて、日本住宅公団施行の土地区画整理事業により開発された区域を中心としたエリア。ＵＲ賃貸住宅が住宅戸数の約１／３を占めており、公営住宅を含め、約半数が公的賃貸住宅。
高齢化が進んでいる中、地元住民を中心としたまちづくり活動が活発に行われており、エリア会議において、有識者、まちづくり協議会、自治体、ＵＲとでエリア全体に係る協議を行っている。



供給主体別戸数構成（戸）
※H17時点推計

■周辺図



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図2500（空間データ基盤）及び基盤地図情報を使用しました。（承認番号平23情使、第68号）なお、本成果品を第三者がさらに複製又は使用する場合には、国土地理院長の承認を得る必要があります。

■URルネッサンス in 洋光台 取組み紹介ホームページ

<http://www.ur-net.go.jp/kanagawa/renaissance/>